

一般14

褥瘡推定発生率

$$\text{褥瘡推定発生率} = \frac{\text{入院時に褥瘡なく調査日に褥瘡を保有する患者数} + \text{入院時に褥瘡あり他部位に新規褥瘡発生の患者数}}{\text{調査日の施設在院数}}$$

褥瘡推定発生率 とは 褥瘡(じょくそう)は低栄養の患者さんが、長く寝込んでいたりするとできます。病院に入院してから新たに発生した褥瘡の率を表しています。

指標の説明 低栄養の患者さんや一定の体の向きしか取れない場合には褥瘡がしやすいので、このような患者さんが多い場合には率が高くなる場合があります。
より低い値を目指しています。

計算について	参考としたガイドライン等	日本褥瘡学会用語の定義集
	データ除外	なし
	補正などの計算方法	なし
	データ基準日	2026年4月25日

考察 2025年度は、登録病院数の減少もあり分母合計の減少がみられる。患者の高齢化があるものの、指数の中央値、平均値は横ばいであり、各施設での褥瘡予防対策や栄養管理・看護ケアを推進して指標が低下できるようにする取組に有用と思われる。

一般14

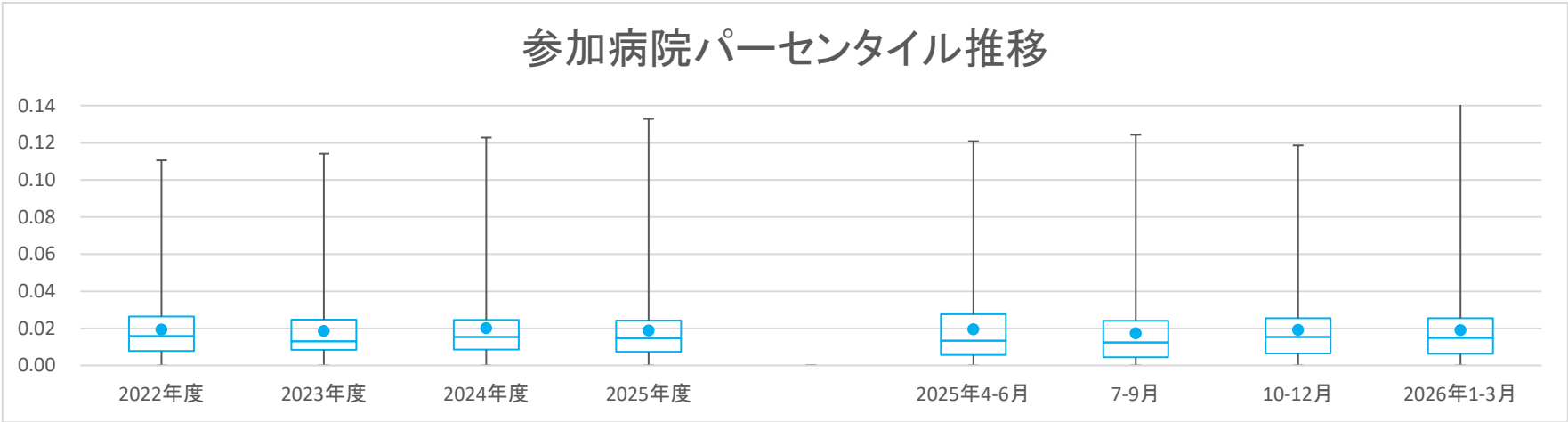
褥瘡推定発生率

対象病院群

精神科標榜なし、総合病院精神科無床、総合病院精神科有床、精神科単科

データのまとめ	調査期間	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年4-6月	7-9月	10-12月	2026年1-3月
	データ登録病院数	156	157	160	156	152	147	149	137
	分母合計	159280	155942	161878	153595	41015	39083	39986	37725
	75パーセンタイル	0.026	0.025	0.025	0.024	0.028	0.024	0.025	0.025
	中央値	0.016	0.013	0.015	0.015	0.013	0.012	0.015	0.015
	25パーセンタイル	0.008	0.008	0.009	0.007	0.006	0.004	0.006	0.006
	平均値	0.019	0.019	0.020	0.019	0.019	0.017	0.019	0.019
	平均値(0を除く)	0.020	0.020	0.021	0.020	0.022	0.020	0.021	0.022

【時系列】●は平均値、他は上方から最大値、75パーセンタイル値、中央値、25パーセンタイル値、最小値 (2014年7月開始)



【直近データ分布】

